



三重県の県政情報をお届けします

県政だより

みえ 1

令和3年(2021) No.438

◎毎月1日発行
◎毎月第1日曜日
新聞折込

僕がつぶやくTwitter
三重県(公式)も
フォローしてね!



©PSP/T-e
三重県応援キャラクター
みえの助

食べたい・買いたいものがいっぱい!

応援しよう

三重の農林水産物



県では、持続可能なもうかる農林水産業の実現に向けて、生産者支援や農林水産物の魅力を伝える情報発信、販路開拓などに取り組んでいます。今号では、三重の農林水産物の魅力と県の取り組みを紹介します。

県のテレビ番組

三重テレビ 県政だより みえ
第3日曜 18時45分~

CBCテレビ よしお兄さんの
「パパにみえできましたね」
(報道情報ワイド番組「チャント!!」内)

水曜 16時30分ごろ~

県のラジオ番組

FM三重 三重県からのお知らせ
月曜~金曜 7時43分~ 金曜 18時25分~

聴いとこ! 知っとこ! 10minみえ!
火曜 18時22分~

注目情報

第10回「みえ県民意識調査」にご協力をお願いします

県では、「みえ県民力ビジョン」に基づき、「県民力でめざす『幸福実感日本一』の三重」の実現に向けて取り組んでいます。幸福実感に関するデータを収集するため、県民の皆さん1万人を対象に、第10回「みえ県民意識調査」を実施し、1月上旬から調査票を対象の方にお届けします。皆さんの意見を県政運営に取り入れる大切な調査ですので、ご協力をお願いします。手軽なインターネット回答もあります。

みえ意識 Q検索



問い合わせ先 戦略企画部 企画課 ☎ 059・224・2025 FAX 059・224・2069 ✉ kikakuk@pref.mie.lg.jp

第1回と前回の調査結果の比較(一部抜粋)

- 日ごろ感じている幸福感(10点満点) 0.13
第1回 6.56点 ▶ 第9回 6.69点 ↑ ポイントアップ
- 国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる実感している 14.9
第1回 17.3% ▶ 第9回 32.2% ↑ ポイントアップ
- 必要な医療サービスを利用できている実感している 12.9
第1回 45.4% ▶ 第9回 58.3% ↑ ポイントアップ

1月号 プレゼントクイズ

「?」に当てはまる文字を
教えてください。

食べたい・買いたいものがいっぱい!
Q 応援しよう
三重の ?

正解者の中から抽選で5人に
県産養殖真鯛 鯛めしの素(2合用・冷凍)を
プレゼント!

(当選者には、お届け日などについて確認のご連絡をいたします)

応募締切 令和3年1月29日(金) 到着分まで
応募方法 ハガキ、メール、QRマークの動画アンケート(特集)で住所、名前、電話番号、県政だよりの入手先、クイズの答え、県政だよりの感想をご記入のうえ、ご応募ください。*動画アンケートにご協力いただいた場合、2口分のご応募とさせていただきます。
〒514-8570(住所不要) 三重県広聴広報課
「県政だより1月号プレゼントクイズ」係
✉ koho@pref.mie.lg.jp



三重とこわか国体

第76回国民体育大会
2021年9月25日(土)~10月5日(火)

三重とこわか大会

第21回全国障害者スポーツ大会
2021年10月23日(土)~10月25日(月)



三重県の人口・世帯数

人口 1,768,632人
(男性:864,215人 女性:904,417人)
世帯数 749,113世帯 (令和2年9月1日現在)

いろいろな「県政だより みえ」を発信しています!

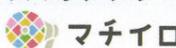
県ホームページ

県政だより みえ Q検索



「電子ブック版」「PDF版」「声の三重県だより」

スマホアプリ



マイ広報紙



逆境を乗り越え、 新しい未来を実現する三重へ！

新年あけましておめでとござ
います。

昨年から続く新型コロナウイルス
感染症の脅威は、私たちの暮らし
や価値観などに大きな変化をも
たらしました。このような中、感
染症の収束と経済の回復を両立す
ることにより、新たな日常を創造
していく必要があります。県では、
この逆境を県民の皆さんと乗り越
え、「三重県らしい、多様で、包
容力ある持続可能な社会」を実現
するため、あらゆる施策を一層加
速してまいります。

**命と安全・安心を守るための「ニュー
ノーマル」**
感染症との戦いに打ち勝つた
後、県の方針となる条例や計画に
基づく対策を講じます。医療・検
査体制の充実や各種施設での感染
防止対策のほか、経済の回復や安
全・安心な暮らしの再構築に向け
た支援、差別や偏見をなくす取り
組みなどを進めてまいります。

また、今年は、紀伊半島大水害、
東日本大震災から10年の節目を迎
えます。これを機に、県民の皆さ
んの防災意識の向上や、災害対応
力の強化に取り組む、ソフト・ハー
ド両面から、国土強靱化に向けた
対策を強化してまいります。

さらに、児童虐待防止対策の強
化や、障がい者の方などに配慮し
た交通安全環境の充実など、誰も
が安全・安心に暮らせる三重づく
りを進めてまいります。

ビッグチャンスを生かす！

いよいよ今年、「三重とこわか
国体・三重とこわか大会」を開催
します。感染症対策を踏まえた

新しい両大会とするため、「選手
ファースト」「安全・安心な大会
運営」「新たな形での県民力の結
集や多様な魅力発信」の視点で、
国体史上初となるオンライン式
典を行うなど、創意工夫を凝ら
し、両大会の成功につなげます。

また、天皇杯・皇后杯の獲得な
どに向けて励む選手の皆さんを
全力で応援するとともに、開催
後も、スポーツを通じて一層活
気あふれる三重となるよう取り
組んでまいります。

さらに、今年は伊勢志摩地域
で、「第9回太平洋・島サミット」
が開催されます。太平洋島しょ国
との絆を深めるとともに、伊勢志
摩サミットの経験を生かしたお
もてなしや魅力発信で、三重のプ
ランド力をPRしてまいります。

未来に向かってチャレンジ！

デジタルトランスフォーメーション
(DX)による社会変革を進める
ため、学校や建設現場でのICT
利活用の促進や、中小企業・小
規模企業におけるDXによる生
産性向上支援、農林水産業のス
マート化、ワーケーションの推
進、観光のニューノーマルなど
に取り組むとともに、SDGs
(持続可能な開発目標)の観点か
ら、ダイバーシティ社会の推進や、
脱炭素化などに取り組む、新しい
未来の実現に向けて挑戦してま
いります。

最後に、本年が皆さんにとつ
て幸多い年となりますことを心
から祈念申し上げます。

三重県知事 鈴木英敬



三重のおもてなし経営企業選

令和2年度
県では平成26年度から、県内の中小企業・小規模企業の中で「社員・地域・顧客」の3者に対して「おもてなし」の取り組みを実践し、健全な経営につなげている企業を、「三重のおもてなし経営企業」として表彰しています。第7回目となる今年度は、3社の受賞が決定しました。

「おもてなし経営」とは？

- 社員の意欲と能力を最大限に引き出し、
- 地域・社会との関わりを大切にしながら、
- 顧客にとって高付加価値で差別化された製品やサービスを提供している経営のことです。

鈴鹿市

株式会社 宝輪

創業：1968年 ● 業種：運送業
従業員数：118人

取り組み内容

健康経営、介護サポート制度により社員とその家族の健康を守り、多様で優秀な人材が集まる職場環境を作っています。「ISO14001」を18年連続取得、三重県下初の「ZEB」化など、環境にも配慮し、スポンサー支援などの地域貢献も積極的に行っています。

(左上) 社屋外観 (津営業所)
(左) 運送用大型トラック

松阪市

株式会社 ミツイバウ・マテリアル

創業：1951年 ● 業種：建築資材卸売業
従業員数：53人

取り組み内容

資格取得支援や社食補助など、福利厚生を充実させています。地域に密着した経営が強みで、地域に貢献したい人材を採用しているほか、地域の施工業者とも良好な関係を築き、地域イベントへの継続的な参画など貢献活動に取り組んでいます。

四日市市

株式会社 四日市事務機センター

創業：1974年 ● 業種：事務機器販売業
従業員数：28人

取り組み内容

オフィスは自宅やカフェ風にし、社員がリラックスでき、働きやすい環境を整備しています。また、取り入れた全国の企業の革新的な取り組みやノウハウを、オフィス見学ツアーなどを通じて、地域の企業に提供しています。

問い合わせ先 雇用経済部 ものづくり産業振興課 ☎ 059・224・2393 FAX 059・224・2480 ✉ monozu@pref.mie.lg.jp

ときめいて人 かがやいて未来 2021 国体で実施する正式競技を紹介します。

第76回国民体育大会
2021年9月25日(土)～10月5日(火)

三重とこわか国体

ハンドボール 会場地：(成年男女)鈴鹿市、(少年男子)いなべ市、(少年女子)伊賀市

ゴールキーパーを含む1チーム7人がパスとドリブルでボールを運び、相手ゴールへボールを投げ込んで得点を競います。ゴールエリアライン(ゴールから6m)の外からのシュートが入れば得点となります。競技時間は前半・後半30分ずつです。

ここが見どころ！
選手がボールを保持できるのは3歩、3秒まで。空中でのプレーや激しいボディコンタクトが見どころです。

ゴルフ 会場地：(成年男子)四日市市、(女子)桑名市、(少年男子)鈴鹿市

ウッド、アイアン、パターなどのクラブで球を打ち進め、各ホールのカップに入れるまでの打数(スコア)の少なさを競います。国体では3人1組の団体戦で、それぞれの選手が36ホールを2日間かけてプレーします。順位は3人の合計スコアの少ない順に決定します。

ここが見どころ！
風向きや傾斜、カップまでの距離を計算しながら、選手自身の経験と技術で放たれるショットに注目。

問い合わせ先 地域連携部 国体・全国障害者スポーツ大会局 総務企画課 ☎ 059・224・2908 FAX 059・224・3245 ✉ kokutai@pref.mie.lg.jp